



燃烧哲学®



サウナストーブ  
MS70Ⅱ

取扱説明書

環境先端技術  
株式会社 **モト製作所**

製品の仕様及び取扱説明書の内容は、  
改善のため告知なく変更する場合があります。  
ご了承ください。

## はじめに

この度は、MOKI 薪ストーブをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品を快適かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

また、一度お読みいただいた後も、今後お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管していただきますようお願い申し上げます。

## 目次

・ はじめに、目次	1
1. 安全上のご注意	2
2. 各部名称	3
3. 使用方法	4
4. 保守	6
5. 各部品交換手順	7
6. Q&A	9
7. サウナ仕様について	11

## 1. 安全上のご注意

### ※ご使用前のお願い

初めて火を入れる際は、塗料が焼き付きストーブ表面から煙が出ますが不具合ではございません。

煙と共に臭いが発生しますので、屋外で事前に焼き付ける事をお勧めします。

(目安：表面温度 350℃ 焼き付け時間 2～3 時間程度)

屋内設置後に焼き付ける場合は、十分に換気をしてください。

※ 弊社ストーブは品質向上の為、出荷前に塗装の焼き付けを行っておりますが、完全に焼き付くまでの間、塗装表面から煙が出ますのでご了承ください。

### ⚠ 警告 死亡や負傷を負う恐れがある内容です。

- ・ 本体及び煙突の設置は、建築基準法及び消防法に従い安全に設置してください。
- ・ 異常、故障時は直ちに使用を中止してください。  
特に、本体や煙突から炎が出たり、破損が確認された場合。
- ・ 本体を可燃性の床へ直接設置することはできません。不燃材の炉台をご使用ください。
- ・ 万一煙道火災が発生した場合は、身の安全を確保し速やかに消防署に通報してください。
- ・ 灰の処理は火の気がない灰を金属容器に3日以上入れ、冷めてから処分してください。
- ・ 着火及び燃料として、ガソリン・灯油・ガス・アルコール等を絶対に使用しないでください。
- ・ 本体の近くに、ガソリン・灯油・アルコール・ライターやスプレー缶などを絶対に置かないでください。
- ・ 本体を不安定な場所に設置しないでください。
- ・ 本体及び煙突に過度な力を与えないでください。
- ・ お子様やペットを、ストーブに近づけないでください。火傷の危険があります。
- ・ 本体を無断で改造しないでください。

### ⚠ 注意 傷害を負う事や、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

- ・ 薪の投入時は耐火グローブを使用し、火傷に注意してください。
- ・ 乾いてない薪を使用しないでください。煤やタールが煙突に付着します。
- ・ ガラスを叩いたり、過度な力を与えないでください。破損の危険があります。

※ 煙突または本体が赤くなるまで燃やさないでください。変形と酸化の危険があります。

## 2. 各部名称



### 仕様

型 式	MS70 II (本体)
寸 法	L523×W506×H662 mm
重 量	90 kg
最大薪長さ	35 cm
煙 突 径	152 φ (内)
付属品	灰取り用お玉

### 3. 使用方法

**⚠ 注意** 傷害を負う事や、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

※ 最初の火入れは、徐々に行ってください。

急激な加熱は、塗装を傷める事があります。

※ 焚口扉を全開、または半開で長時間燃やさないでください。

ストーブ本体が過度に加熱され赤くなり危険です。

※ 薪を入れる際は、火傷にご注意ください。

耐火グローブ(別売り)をご使用ください。

焚口扉を勢いよく開けると炎が出やすくなります。ゆっくりと開けてください。

#### 3-1, 準備

※ 6~12ヶ月乾かした薪を使用してください。(水分20パーセント以下)

※ 初回ご使用時は塗料が焼き付く為、本体から煙が発生します。必ず換気を行ってください。

#### 3-2, 着火・燃焼

① 煙突にダンパーがある場合は全開にします。

② 空気調整口を廻して全開にします。

(取手縦向き：全閉 取手横向き：全開)

③ 焚口扉を全開にします。

④ 焚き付け用の細めの薪を適量入れます。

⑤ 着火剤を薪の上に載せ、ライター等で着火します。

または、焚付け用の薪に直接ガスバーナー等で

着火します。




空気調整口  
(写真は全閉状態)

⑥ 焚き付け用の薪が燃え出し、炎が上がるまで焚口扉は開けておきます。

⑦ 焚き付け用の薪から炎が上がりましたら、中割りの薪を2、3本入れ焚口を閉めます。

⑧ 炎が安定したら太い薪を入れ、焚口を閉めます。

### 3-3, 消火

 **注意** 傷害を負う事や、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

※ ストープに水をかけて消すことは、本体の変形や故障の原因になりますので絶対にしないでください。

・薪ストーブは、急な消火は出来ません。

消火の2～3時間前には、薪の投入を止め燃え尽きるようにしてください。

◎ **緊急に消火が必要な場合**

焚口扉から薪を取り出し、予め用意した金属製容器内で水をかけ消火してください。

### 3-4, 灰の処理

① 完全に鎮火し、ストーブが冷めていることを確認した後に作業を行ってください。

② 本体に付属している 灰取り用お玉 を使用して灰を取り除いてください。

・ **ストーブ内には、必ず1～2 cm程度の灰を残してください。**

保温効果を高めるとともに、熱によるストーブ本体へのダメージも低減できます。

・ 灰は、金属容器に入れ完全に冷えていることを確認後処分してください。

(灰は有益な加里肥料になります。ご活用ください。)

## 4. 保守

末永くご愛用いただくために必ず下記内容に従い、適切なメンテナンスを行ってください。

※ 各種点検等はストーブが冷めている状態で行ってください。

- ・点検と掃除は少なくとも年1回は行ってください。
- ・ストーブ表面の錆はワイヤーブラシ等で落とし、紙ヤスリ（#400番程度）で仕上げ、別売りの耐熱塗料スプレーを塗付してください。
- ・定期的に締結ボルトに緩みがないか確認してください。
- ・燃え残り等はブラシやウエスなどを使って除去してください。
- ・ストーブ本体や煙突に穴などの破損がないか定期的に点検し、破損している場合はご使用をお控えください。

### 煙突掃除に関して

- ・煙突掃除は年1回もしくは煙突内に5ミリの煤やタールが付着した場合必ず行ってください。  
そのまま放置しますと煙道火災を引き起こす可能性があり大変危険です。
- ・煤やタールは、掃除ブラシ（別売り）を通して取除いてください。

煙突掃除は施工業者様またはお近くの工務店様等に依頼されることをお勧めします。

## 5. 各部品交換手順

**⚠ 注意** 傷害を負う事や、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

※ 作業中は手袋を着用してください。

※ 燃焼中には絶対に作業せず、本体が十分に冷めてから作業してください。

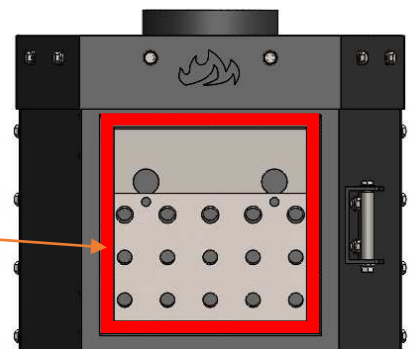
※ 部品脱着に使用する工具等は本体に付属しておりません。適正な工具を使用してください。

※ 必要に応じてサウナストーンを全て取り除き、落下等の危険が無いように作業してください。

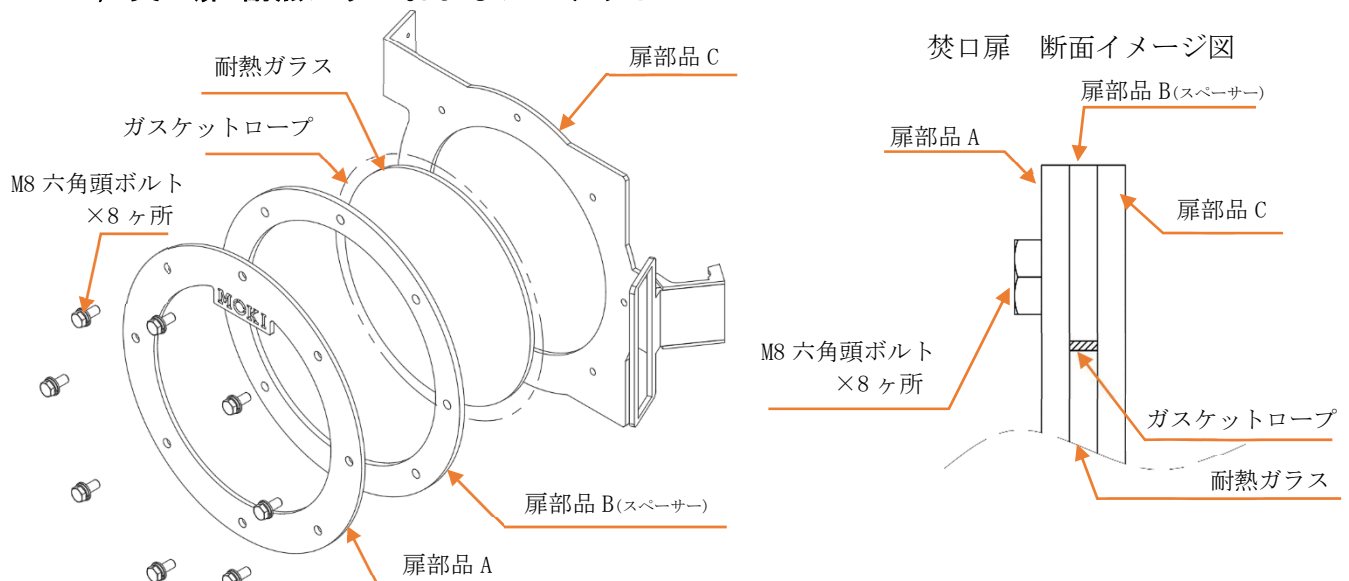
### 5-1, 本体側 ガスケットロープ

- ① 焚口扉を開き、ガスケットロープにアクセスできる状態にしてください。
- ② つなぎ目からマイナスドライバー等を使用して本体から外してください。
- ③ 新品のガスケットロープを取付け、  
扉がしっかり閉まることを確認してください。

ガスケットロープ



### 5-2, 焚口扉 耐熱ガラスおよびガスケットロープ



- ① 焚口扉を本体から取り外してください。(扉を開いた状態で持ち上げると取り外せません)
- ② M8 ボルトを取り外して焚口扉を分解し、耐熱ガラスを交換してください。

※ 扉部品 B の内側のガスケットロープをきれいに剥がしてください。

組付けの際は、ガスケットロープの粘着テープ部分を扉部品 B の内側に貼り付けてください。

※ ガラスの取り扱いや組み立て時の部品順番にご注意ください。

※ ガラス締結ボルトは出来るだけ弱い力で締結してください。

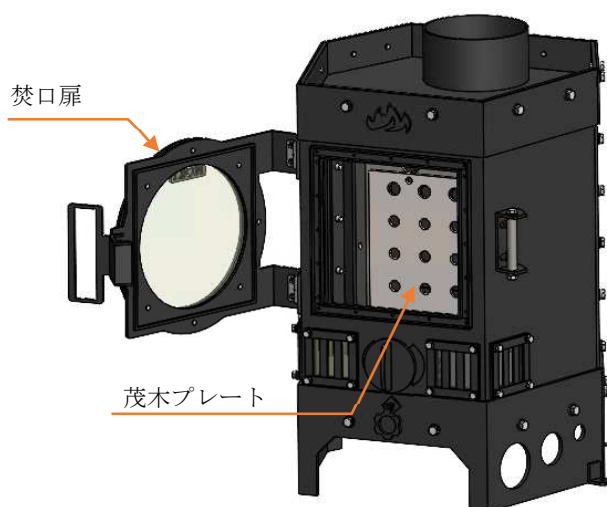
**締めすぎるとガラス割れの原因になります。**

- a. ボルトが手で回して緩まないこと。
- b. 固定の際、ガラスにがたつきがないこと。

以上 2 点に注意して組付け、定期的に締結状態に問題がないか確認してください。



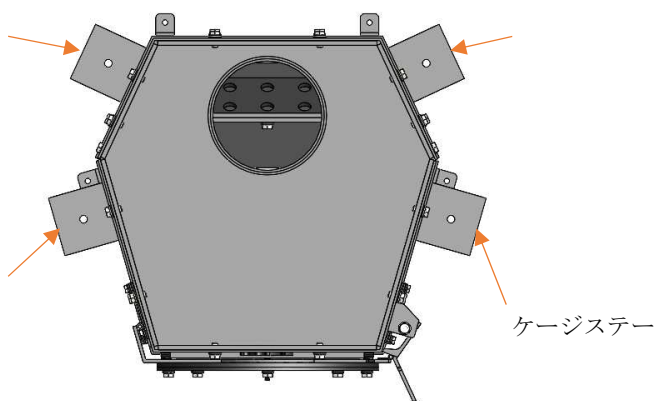
### 5-3, 茂木プレート



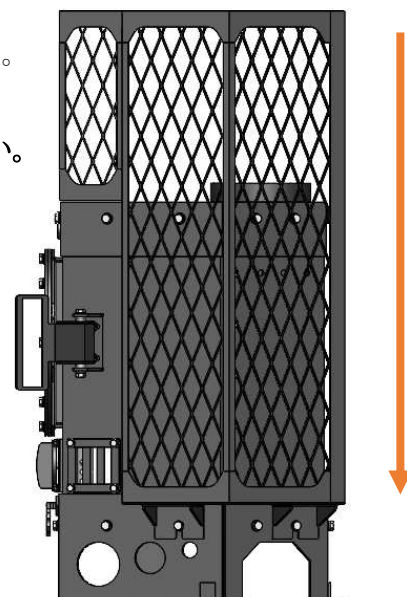
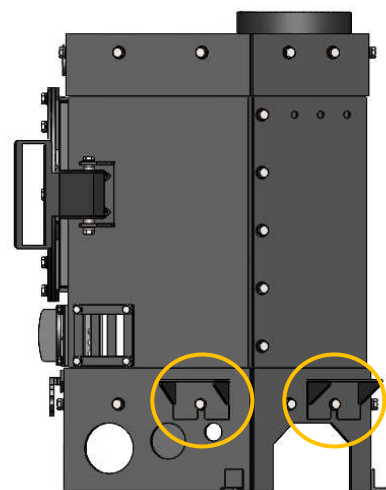
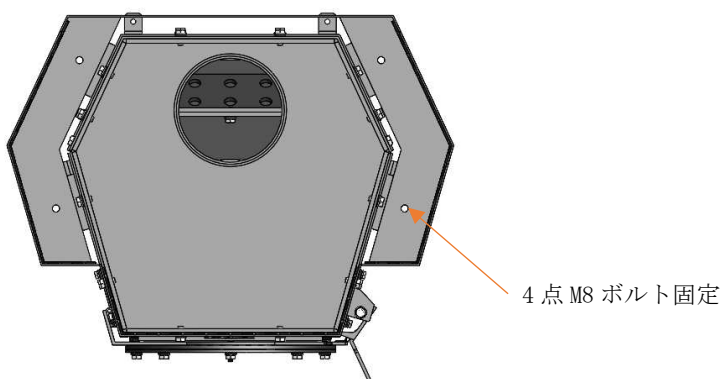
- ① 焚口扉を開いて、炉内にアクセスできる状態にします。
- ② 茂木プレートを持ち上げてから手前に引っ張ると外すことができます。  
(ボルトの頭で引っかかっている構造になっております。)
- ③ 逆の手順で新しい茂木プレートを取り付けてください。

### 5-4, ケージ

- ① ケージステーを本体に取り付けます。  
図示の M8 ボルト x4 を緩めて、ステーを仮止めしてください。



- ② ケージを本体上部から設置し、M8 ボルトにて締結してください。  
※本締めする前に、  
ケージが本体に対して適正な姿勢になっているかご確認ください。



## 6. Q &amp; A

こんなとき	原因	対処方法
薪が燃えない	<p>薪の乾燥が不十分</p> <p>焚き始めから太い薪を使用</p> <p>空気調整口が閉じている</p> <p>煙突が煤で詰まっている</p> <p>新聞紙で着火している</p> <p>横引に対し外の立上が短い</p> <p>薪の量が少ない</p>	<p>6～12ヶ月乾かした薪を使用してください</p> <p>焚き付けは細い薪を使うと着火が容易です</p> <p>空気調整口を開けてください</p> <p>煙突の中に煤が5ミリ以上付着の場合は煙突掃除をしてください</p> <p>着火剤を使用してください</p> <p>横引の長さの1.5倍以上必要です 状況により2倍以上必要な場合もあります</p> <p>薪の量を増やし勢いよく燃やしてください</p>
煙が逆流する	<p>手前で着火している</p> <p>煙突が煤で詰まっている</p> <p>煙突トップ付近の風の乱れ</p> <p>横引に対し外の立上が短い</p> <p>高气密の空間である</p> <p>近くで換気扇が廻っている</p>	<p>中心より奥で着火してください</p> <p>煙突の中に煤が5ミリ以上付着の場合は煙突掃除をしてください</p> <p>煙突を屋根及び障害物より高くしてください</p> <p>横引の長さの1.5倍以上必要です 状況により2倍以上必要な場合もあります</p> <p>窓を開け空気を取込んでください または外気導入口を設置してください</p> <p>換気扇を一時止めてください</p>
ストーブが熱くならない	<p>薪の量が少ない（低温燃焼）</p> <p>空気調整口が閉じている</p> <p>空気調整口の開けすぎ</p> <p>熱が煙突から逃げってしまう</p>	<p>薪を増やしてください</p> <p>空気調整口を開けてください</p> <p>空気調整口を絞ってください</p>
ストーブ表面から煙が出る	塗料が焼ける為です	<p>初回使用時のみです</p> <p>換気をしてください</p>
ガラスが煤で曇る	低温燃焼です（不完全燃焼）	薪の量を増やし勢い良く燃やしてください
ガラスの磨き方	ガラスが冷えている状態の時、湿らしたウエスに灰を付け磨いてください	

## 7. サウナ仕様について

**⚠ 警告** 死亡や負傷を負う恐れがある内容です。

- ・ サウナ設備設置基準を参照または工事業者様にご相談の上、安全に設置してください。
- ・ 個人宅以外に設置する場合は、火災予防条例の規制を受ける事がありますので、所轄の消防署の指導に従ってください。
- ・ 営業浴場に設置する場合は、所轄の保健所の指導に従ってください。
- ・ 十分な強度を持った場所に設置してください。
- ・ サウナ室用温度計・湿度計を設置し身体に危険が起こらないように管理してください。

**⚠ 注意** 傷害を負う事や、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

- ・ 「ロウリュ」で水をかける際は、火傷にご注意ください。  
ストーブ手前から奥に向かいかけますと蒸発した水蒸気で火傷をする可能性があります。
- ・ 「ロウリュ」で水をかける際は、少量ずつ注いでください。  
多くかけすぎてしまうと、天板に水がかかってしまい消耗を早めてしまいます。
- ・ ガラスに直接 水をかけないでください。破損の恐れがあります。
- ・ 煙突に直接水をかけないでください。変形・破損の恐れがあります。

### <サウナストーン設置>

**⚠ 注意** 傷害を負う事や、財産の損害が発生する恐れがある内容です。

- ※ 作業中は手袋を着用してください。
- ※ サウナストーンを入れる際は、サウナストーンの落下、崩れに十分ご注意ください。
- ※ ストーブ燃焼中はサウナストーンに絶対触らないでください。火傷の危険があります。

サウナストーン積載量表	
スタンダードタイプ(本体のみ)	約 40 kg
ストーンタワーのみ	約 60 kg
ケージのみ	約 160 kg
フルセット (ケージ+ストーンタワー)	約 180 kg

※サウナストーンは別売りです。

※積載量はサウナストーンの形状、大きさ、積み方で変動します。

※可能な限り平らな面をストーブ本体側にして隙間なく入れてください。

## サウナストーン積み方（例）

〈スタンダードタイプ〉



〈フルセット〉



・ケージタイプ使用時の注意点

独自の形状により、室内に効率よく熱が回るように設計されています。

遮熱板と本体の隙間がサウナストーンでできるだけ塞がらないようにしてください。



**株式  
会社 毛丰製作所**

〒389-0802 長野県千曲市内川 96 (国道 18 号沿)

TEL : 026-275-2116 (代) FAX : 026-275-2169

HP <https://moki-ss.co.jp> E-mail [moki@moki-ss.co.jp](mailto:moki@moki-ss.co.jp)

最終更新日 : 2025 年 1 月 29 日